

— 多摩の明るい未来を目指して —

TAMASHIN REPORT 2018.6

2018.4.1 → 2018.6.30



第1四半期の取り組みと その結果についてご報告します。

いつもたましんをご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。
2018年4月から6月までの私たちの取り組みとその結果をご報告します。
今年度も多摩の明るい未来の実現に向けて、お客さま、地域社会が抱える
課題の解決に取り組んでまいります。
今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

理事長 **八木 敏郎**



— 多摩地域の活性化のため、さまざまな活動に取り組んでいます。 —

企業・事業者への支援



発表を通して学びを深める受講生

創業者フォローアップスクール

経営者が社会環境の変化に対応した経営を維持するため、創業期から成長期に向けて必要となる財務や会計能力を養うことを目的に、創業者フォローアップスクールを府中市内で開催しました。立川・八王子市内でも開催を予定しており、創業期の経営者に対する支援を引き続き行っていきます。

決済手段に関する取り組み

企業・事業者のお客さまの決済手段をサポートするため、法人クレジットカードおよび加盟店契約の取り組みを行っています。加盟店契約では、商店会の会員を対象とした個別説明会の実施や株式会社しんきんカードによる端末機無償提供、加盟店手数料率の優遇を行っています。今後も、多様化する決済手段に対応し、利便性の向上につとめます。



決済に関する課題を解決

持続的な経営に向けた 取り組みを支援

東京都よろず支援拠点と連携し、「平成29年度補正予算 小規模事業者持続化補助金」の申請を予定されているお客さまを対象に同補助金申請相談会を3会場で開催し、22名が参加されました。相談会後も申請書のアドバイスを行うブラッシュアップを実施し、お客さまの販路開拓等に向けて支援しました。



東京都よろず支援拠点と連携して
お客さまを支援



グループワークの様子

次世代ビジネスリーダーの育成支援

多摩地域の次代を担う経営者を育成する経営者塾「TAMA NEXTリーダープログラム(11期生)」の講座を開始しました。本プログラムは6月からの半年間、明星大学との共催で行い、マーケティング・財務・マネジメント・労務等、経営者として必要な知識と人的ネットワークの形成の機会を提供しています。

個人の皆さまへのお手伝い

たましん トラベルサークル

たましんトラベルサークル2018「美食・絶景・癒し」煌めきの九州3日間を開催しました。695名のお客さまに世界文化遺産の宗像大社や水郷柳川の川下り、黒川温泉などをお楽しみいただきました。



悠久の歴史を感じる宗像大社

ホームページで公表している取組状況

「お客さま本位の業務運営に関する 基本方針」の取組状況を公表

たましんは、2017年6月に「多摩信用金庫 お客さま本位の業務運営に関する基本方針」(以下、基本方針)を策定し、お客さまに寄り添った課題の解決に取り組んでいます。今般、その取組状況を成果指標として公表するとともに、たましんの課題解決の取組方針をより分かりやすくお客さまへお伝えするため、基本方針の一部見直しも行いました。



相続対策に活用

相続冊子 「大切なご家族に想いをつなぐ」発行

すまいるプラザおよびすまいるセンターを拠点とする「相続あんしん館」のオープンに伴い、相続全般に関するお悩みや相続対策の様々なニーズにお応えするため、相続冊子を作成しました。すまいるセミナーや個別相談会などで配布し、相続対策に活用いただいています。

地域社会への取り組み



二次選考会でのプレゼンテーションの様子

特色ある多摩地域創出連携支援補助金

日本財団「わがまち基金」の助成金を活用して「特色ある多摩地域創出連携支援補助金」の公募を行い、3事業を採択しました。当補助金は、「高等教育機関の集積」という多摩地域の特性に着目し、大学をはじめとする高等教育機関と事業者・団体・行政のネットワーク構築、さらなる地域の課題解決や活性化に向けた持続的な取り組みを支援するものです。全国的にも珍しい試みを通じて、多摩地域の価値向上につなげていきます。

内閣府「PPP/PFIに関する 地域プラットフォーム 形成支援事業」に採択

信用金庫を中心とした地域プラットフォーム形成支援は全国で初めてとなります。多摩地域における広域的なプラットフォームを形成することにより、行政、金融機関、企業等の関係者が集い、ノウハウの習得・共有を図り、PPP/PFI事業化への体制構築と事業の創出を実現してまいります。

※PPPとは、公民が連携して公共サービスを提供するしくみです。その手法の一つとしてPFIは、民間の資金と経営の能力・技術力を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業のことをいいます。

IT導入補助金活用セミナー

ITを活用した業務効率化の機運が高まる中、経済産業省関東経済産業局・ITコーディネータ多摩協議会との連携により「IT導入補助金活用セミナー」を開催しました。当日は、補助金の説明をはじめ、ITを活用した生産性向上事例などを専門家に紹介していただきました。



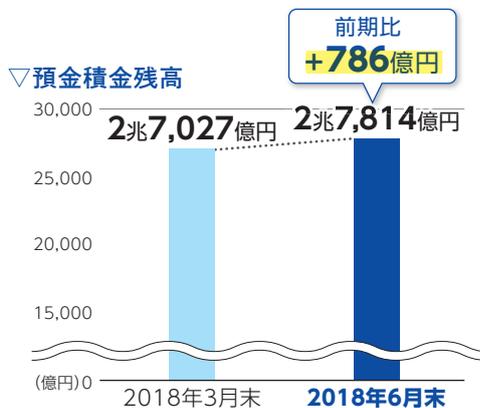
51名の事業者が参加



預金・貸出金について

預金積金残高は、2018年3月末より786億円増加し2兆7,814億円となりました。貸出金残高は、地域の皆さまが抱える課題の解決に積極的に取り組んだ結果、2018年3月末より31億円増加し、1兆362億円となりました。内訳をみると、事業性のご融資は24億円増加、個人のお客さまのご融資は7億円増加しました。

※個人のお客さまへのご融資には、個人事業者向け住宅資金・消費資金等が含まれます。



損益について

業務純益は、貸出金利息の減少、国債等債券売却償還損の増加を主な要因として、前年同期比6.9億円減少の9.2億円、経常利益は、前年同期比2.0億円減少の16.5億円となりました。また、当期純利益は11.8億円となりました。

▽業務純益の推移



▽経常利益の推移



▽当期純利益の推移



有価証券について

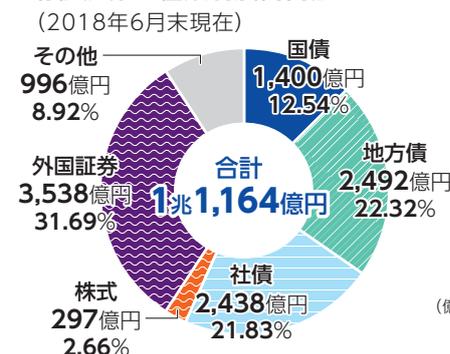
資金運用については、各種リスク管理を行ったうえで、国内外の債券を中心に株式や投資信託等に分散投資し、安定した運用を心がけています。

海外金利の上昇などから、保有有価証券の評価損益は224億円となりました。

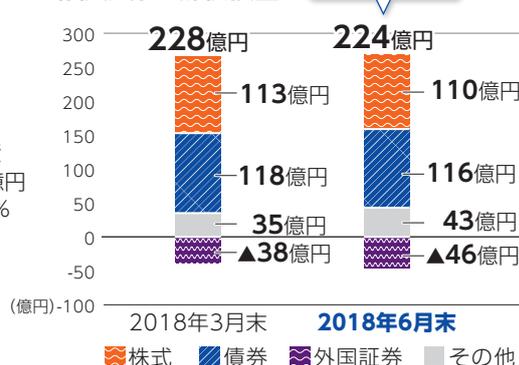
※有価証券の種類別残高は2018年6月末における貸借対照表計上額です。

※右記の「その他」は、投資信託等です。

▽有価証券の種類別残高内訳



▽有価証券の評価損益



不良債権について

金融再生法開示債権のうち正常債権を除く開示額は2018年3月末より26億円減少し633億円となり、不良債権比率も0.27ポイント低下し6.10%となりました。不良債権のうちの75.74%は担保・保証や貸倒引当金によって保全され、残りの24.25%にあたる153億円についても、自己資本により、全額カバーされています。

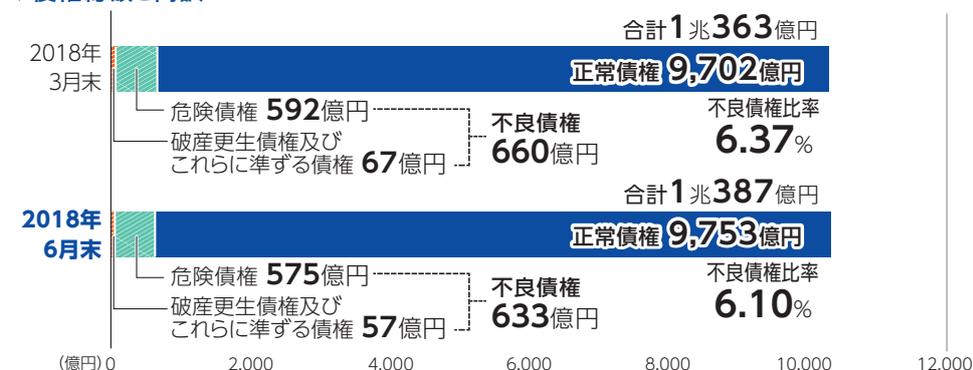
※金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、たましんが保証する私募債を対象にしています。

※債権残高は、倒産・延滞や決算期の到来等の事象の発生都度、実施された自己査定結果に基づいています。

※自己査定で無価値または回収不能と判断された債権については部分直接償却予定額として、2018年6月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」から、6億円を控除しています。

※要管理債権の残高はありません。

▽債権総額と内訳



○本誌に掲載している数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づいています。また、会計監査人の監査を受けていません。

○本誌では、原則として単位未満(構成比等の比率については表示した数値未満)を切り捨てのうえ表示しています。従って項目ごとを合計した場合、合計を表示している欄等との数値が一致しない場合があります。



たましんレポート 2018年6月期
多摩信用金庫
〒190-8681 東京都立川市曙町2丁目8番28号
TEL: (042) 526-1111 (大代表)
http://www.tamashin.jp

本誌に関するお問い合わせ

お客さま照会センター
フリーダイヤル: 0120-187-329
ホームページでも本誌やたましんに関するご意見・お問い合わせを承っています。



UD FONT

発行: 2018年8月